

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	平常展示事業	会計	一般会計	事業No.	828	施策順No.	29-016
		事業種別	政策・その他	予算科目	10-5-6-11-10		
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり			課等名	美術博物館		
施策	29 ふるさと意識の醸成			事業期間	開始	1	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	1 飯田下伊那広域圏の地域住民						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		広域圏住民数(人)	173092	172122	170844	169503	169106	
	意図	1 教養を高める。 2 情操教育につなげる。 3 豊かな心をはぐくむ。 4 地育力向上につなげる。						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	平常展示の観覧者数(延べ人数)	23418	20523	20069	18000	22868	15000	A
	実施した平常展示の回数	12	10	10	8	8	8	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価あり】	目標を上回る観覧者を得ることができた。観覧者の満足度を高める方策について工夫する必要がある。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	菱田春草をはじめとする飯田・下伊那地方に関わりのある美術作品や美術資料を日常的に展示公開することによって、市民が飯田の文化に触れる機会を増やし、ふるさと意識の醸成につなげる。 1 美術部門が所蔵する作品や関連資料を調査研究に基づきながら、展示し市民に公開する。 2 菱田春草の作品を当館で鑑賞する機会を作る。 3 市民の芸術活動の発表の場を共催展(現代の創造展)によって設ける。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 平常展示の開催 (1) 平常展示「風雅の町・飯田ー菱田春草と日本画ー」1～5 (2) 平常展示「景徳鎮からの風ー青花と五彩の世紀ー」 (3) 平常展示「山村風景をめぐるー伊那谷の洋画家ー」 2 共催展の開催 (1) 第11回「現代の創造展」	1 平常展示数 2 共催展数	1 7回 2 1回
23年度実施計画	1 平常展示 飯田市所蔵の菱田春草作品を中心とする飯田の芸術に触れる日本画展を4回開催する。また、館所蔵品を中心とした作品展を3回開催する。展示の中では、パスポート会員向けの鑑賞会を催し、より深く郷土の美術に触れることのできる機会を作る。 (1) 平常展示「菱田春草と日本画」1～4 (2) 平常展示「現代の日本画」 (3) 平常展示「館所蔵の洋画」 (4) 平常展示「須田剋太」 2 共催展 現在、飯田下伊那地域で活動する作家、飯田下伊那出身で活動する作家による展覧会「現代の創造展」を開催し、今の郷土での表現を鑑賞できる機会とする。 (1) 第12回「現代の創造展」	1 平常展示数 2 共催展数	1 7回 2 1回

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)			特定財源内訳、補足事項
		22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	
	国庫支出金				
	県支出金				
	起債				
	その他				
	一般財源	2,610	1,714	2,480	
	計(A)	2,610	1,714	2,480	
	正規職員所要時間				
	臨時職員等所要時間				
	人件費計(B)			0	
	トータルコスト A+B		1,714		

4 事業に対する市民や議会の意見

館内アンケートより「菱田春草の絵を1点でも飾ってほしい」(H17.10.27・静岡県70代男性、特別展の為春草展示なし)、「菱田春草の絵の数が少なかつたのでちょっとがっかり・・・」(H17.9.11・愛知県の40代女性、平常展で春草作品を6点展示)、「春草が目当てだったのでとても残念です。」(H19.11.23・宮城県60代女性、平常展で春草作品を1点展示)、「春草の絵が無く残念。出身地の春草を必ず観れるように。」(H20.6.24・60代男性、春草展示なし)など、遠方から来館されて菱田春草の作品展示が少ないことに対して残念に思われる意見が多い。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	1 地域を知る 2 地域を誇りに思う	施策の成果指標又はムツ指標	1 飯田の自然・歴史・文化を学んでいる市民の数(述べ人数) 1 ふるさと(飯田)を誇りに思っている市民の割合
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	平常展示では、菱田春草をはじめ郷土作家の作品を随時公開し、地域を知る機会とした。また、現代の創造展は、地域作家の発表の場として定着し、地域の現在の様々な創作活動に触れる機会となった。		
	後期に向けた課題	平常展示において、菱田春草作品の常設展示化も将来の視野に入れ、どのように春草について伝えていくのか、より効果的な方法を検討する。現代の創造展は、実行委員会と連携を計り、展覧会がいつも新鮮な魅力を保てるような方法を検討していく。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	郷土作家の作品については、変化に乏しいととられがちな平常展示に動きを持たせるため、随時、一般所蔵家からの作品を借用したりして内容を工夫した。また、毎年、同様のテーマにならないよう所蔵品展の企画を工夫した。		
	後期に向けた課題	いかに平常展示を新鮮で魅力的な内容にするか常に創意工夫しなければならない。また、平常展示の内容を効果的に広報する方法について考え出す必要がある。		
コストを削減するためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	展示スケジュールを作業が効率よくできるように工夫し、美術品取り扱い専門業者に依頼する回数を必要限度にとどめた。		
	後期に向けた課題	これまでと同様に、展示スケジュールを作業が効率よくできるように工夫し、美術品取り扱い専門業者に依頼する回数を必要限度にとどめた。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	受益者負担は適当と考える。		
	後期に向けた課題	展示内容の充実や展示の工夫を検討していく。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	現代の創造展では、飯伊美術家美術家団体の会を主体に実行委員会を組織していただき、同会と協力しながら企画・運営を進めてきた。すでに同会の協力なしでは実現しない展覧会となっている。		
	後期に向けた課題	平常展示を通して、各自治振興センターとの連携など、地域と関連を持つ工夫を探索する必要がある。また、現代の創造展実行委員会の運営について、よりよい活動が出来るよう如何にサポートするか、方法を考える必要がある。		
全体を通じて	4年間の振り返り	所蔵作品が大きな変動しなかった中で、菱田春草の公開を中心に、いかに館所蔵品の公開スケジュールを効果的に組み合わせるかに苦心してきた。しかしながら、平常展示に毎回変化をつけることは難しく、まだまだ創意工夫を要する段階にある。		
	後期に向けた課題	平常展示は、将来的には菱田春草作品の常設化を目指すものである。そのために春草作品の重要性を市民により伝えるように工夫し、所蔵作品を充実させる環境を作っていく必要がある。その大元となる平常展示のあり方を常に工夫していく必要がある。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	--